

福島成蹊中学校通信

2021年度
第2号

5月15日(土)に一貫コース強歩が実施されました。中学1年生から高校3年生全員が、およそ25kmの道のりを自分の足で歩ききりました！中学1・2年生にとっては初めての強歩でしたが、弱音も吐かず一心不乱に歩みを進める様子にたくましさを感じました！今回の経験を「自信」とし、日々の学習活動などでも「あきらめずにやり抜く」という「困難を乗り越える力」を発揮して欲しいと思います。

一貫コース強歩～四季の里～



● 学校に着いたときは何ともなかった足が、家に着いたとたんにしびれて動かなくなるほど疲れましたが、歩ききったことが誇らしいです。自分で言うのも何ですが、自分はよく頑張ったと思います！

1年 伊勢琴心
(白河市立みさか小学校出身)

● 卒業生が「強歩は自分のためになった」とおっしゃっていましたが、その言葉の意味を身をもって実感することができました。個人的には強歩の目標を全て達成できたと思います。

2年 草野美有
(二本松市立安達太良小学校出身)

● 今回の強歩では、歩くことで精一杯だった一昨年と比べて、視野が広がったように思えました。他者への配慮ができていたかは疑問ですが、みんなでゴールできたことは嬉しかったです。

3年 会田智陽
(福島市立庭坂小学校出身)



全員完歩達成！

● 生徒会としてルートやグループを考えるなど運営にも関わりました。やはり経験がない分、大変なこともありましたが、先輩方との協力によって乗り越えることができました。

2年 ウォード琴乃
(中島村立滑津小学校出身)



● 途中、上り坂下り坂等、その他にも辛い所が何度もありましたが、挫折する事なく、最後まで歩ききることができました。この強歩を通して、最後まで諦めないことを学びました。

1年 菊地優伸
(桑折町立半田醸芳小学校出身)



● 同じ班の1年生に「大丈夫？」と聞いてみると、「大丈夫です。ありがとうございます。」と返されました。その時、とても心があたたかくなり、周りの人にもさらに声をかけられるようになりました。

3年 藤原寧々
(川俣町立富田小学校出身)

● 昔の人々は今回歩いた距離ぐらいはよく歩いていたのだと思います。それに比べ、私たちはすぐに疲れてしまうし、すぐ車に乗ります。人間は生き物としてはだんだん弱くなっているのではないかと考えていました。

1年 杉本佳乃幸
(福島市立蓬萊小学校出身)

● 途中、辛そうな後輩の背中を押してあげたり、何とかたどり着かせようと励まし続けたりしました。気づけばそのおかげで自分も頑張れた気がします。

2年 井上結心
(福島市立三河台小学校出身)



県北陸上競技大会

5月13日(木)14日(金)に県北陸上大会が実施されました。感染症対策として無観客でおこなわれました。短い練習時間の中、自己ベストを出そうと真剣に競技に臨みました！生徒の感想を紹介します。

私は自己ベストを出すことができませんでした。反省すべき点は、どこかで諦めてしまっていた自分の気持ちです。部活もあと少しで終わってしまうので、この失敗を次につなげていきたいです。

3年 國分 桃
(郡山市立大成小学校出身)

私は今回の大会で良い結果を残すことができませんでした。去年コロナウイルスによって大会ができなかった2・3年生にはその悔しさの分だけ努力できたのかを深く考えることができました。

3年 遠藤 煌芽
(福島市立森合小学校出身)

リレーの時にバトンパスがうまくいかなかったのですが、最後の最後で2人抜かすことができ嬉しかったです。100m走ではスタートダッシュがうまくいかなかったので、改善したいと思います。

2年 河野 日南
(桑折町立陸合小学校出身)

昨年はコロナのため大会が中止となり、今回が初の大会でした。私は「リレー」と「砲丸投」に出場しました。リレーはまずまずでしたが、砲丸投はフォームが崩れてしまったので、次回の課題にしたいと思います。2年 林 徳明
(桜の聖母学院小学校出身)

自己ベストを出すという目標で800mに出場しました。他校の生徒が思っていたよりも速く、諦めそうになりましたが、応援してくれる人やここまで頑張ってきた自分のために、諦めず走りきることができました。1年 中島 恋
(福島市立森合小学校出身)

